

# 兵庫県 の 地震 活動

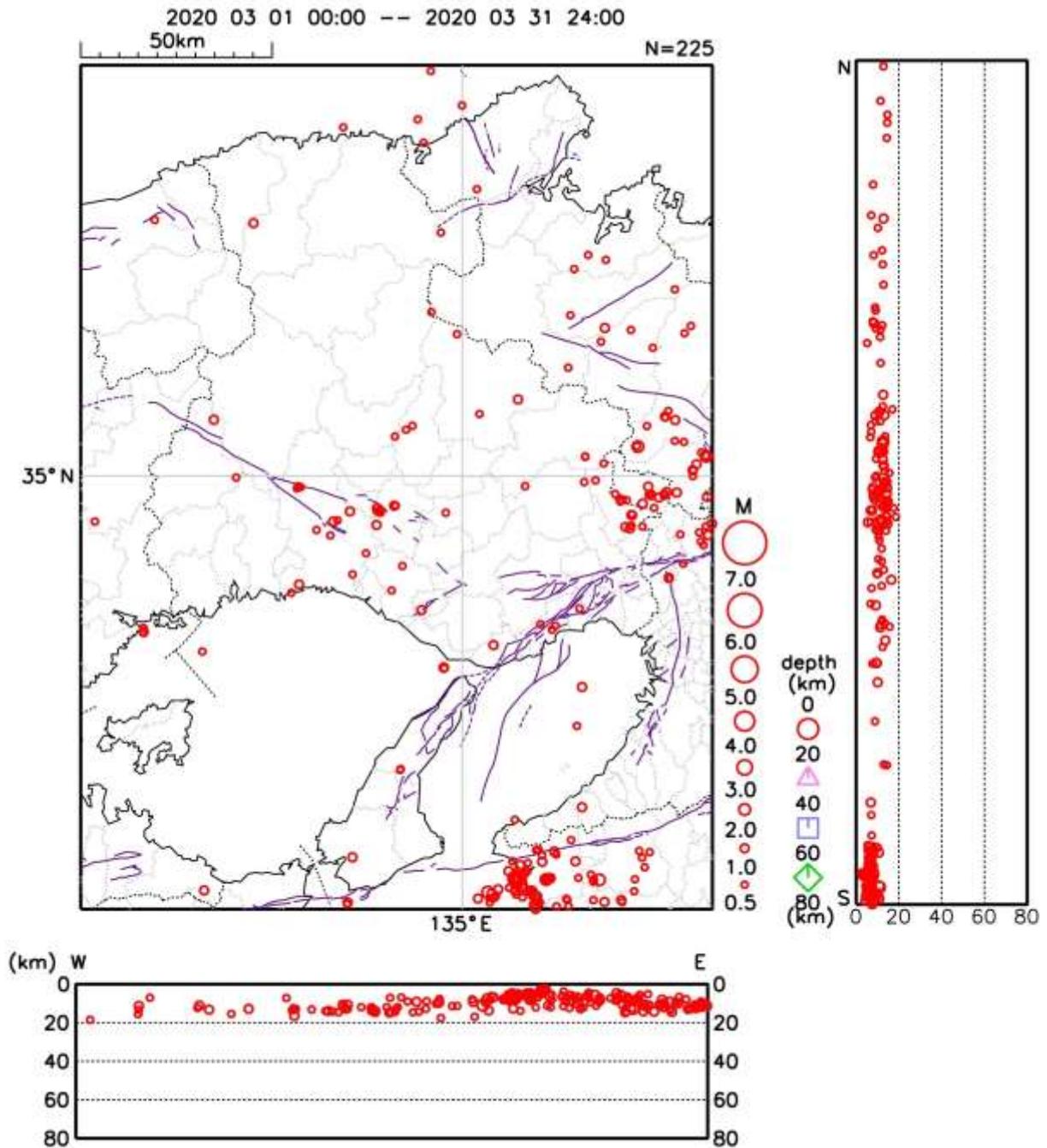
2020 年（令和 2 年） 3 月

震央分布図・断面図	1
概況	2
兵庫県で震度 1 以上を観測した地震一覧表	2
兵庫県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図	2
一口メモ	
緊急地震速報を活用した訓練	3

- \* 「兵庫県の地震活動」は月 1 回発行し、兵庫県内の地震活動状況をお知らせするとともに、社会的に関心の高い地震について適宜解説を行います。また、「一口メモ」で地震防災等の知識普及に努め、皆様のお役に立てることを目的としています。
- \* この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。
- \* 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
- \* また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

神戸地方気象台

# 震央分布図・断面図



左上：震央分布図 右上：東から見た断面図 左下：南から見た断面図  
注) 分布図の紫線は、地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す。

# 概 況

――3月の概況――

今期間、兵庫県内では震度1以上の地震を1回観測しました。

13日02時18分 石川県能登地方の地震（深さ12km、M5.5、前掲震央分布図範囲外）により、豊岡市で震度1を観測しました。

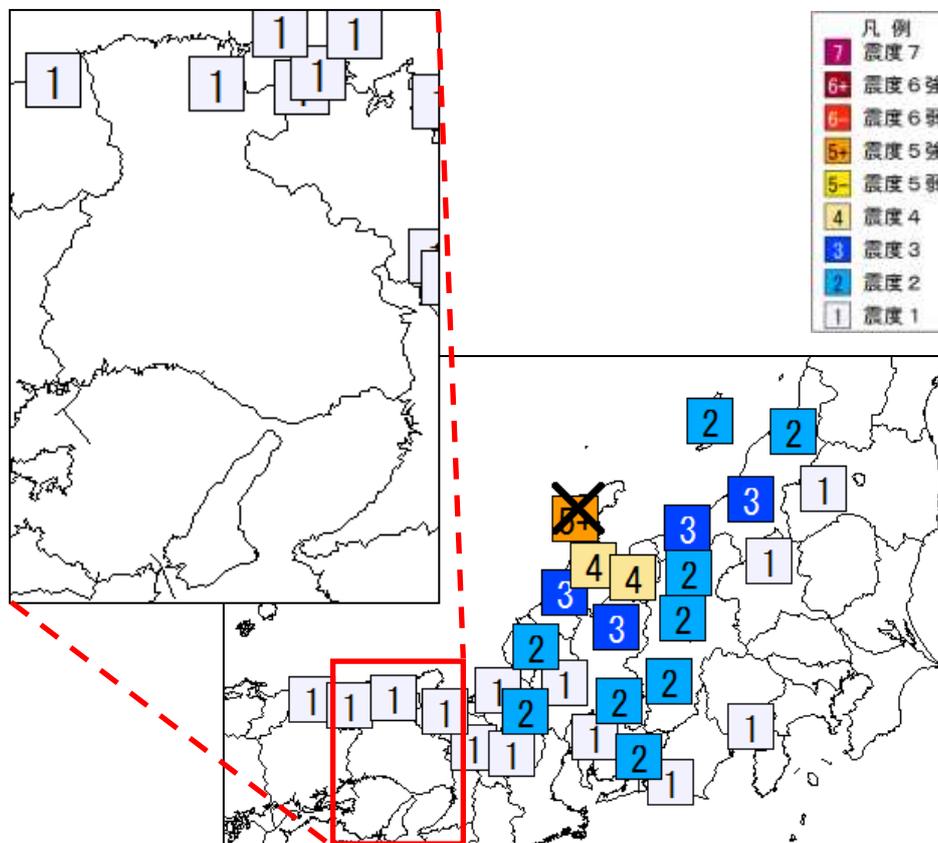
## 兵庫県で震度1以上を観測した地震一覧表

地震発生日時 震度（兵庫県内）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード	全国最大震度
2020/03/13 02:18	石川県能登地方	37° 16.7' N	136° 49.4' E	12km	M5.5	震度5強
震度 1：豊岡市桜町						

震源要素は、後日修正される場合があります。確定値は「地震・火山月報（カタログ編）」に掲載されます。

## 兵庫県で震度1以上を観測した地震の震度分布図

3月13日02時18分に発生した、石川県能登地方の地震による震度分布図（左上図：観測点震度、右下図：地域震度）×印は震央を表す



緊急地震速報は、地震の発生後、強く揺れる前に揺れが来ることを伝えることを目標とする情報です。今回は、緊急地震速報を活用した訓練について解説します。

### 【何を訓練するか】

緊急地震速報は、地震の発生直後に強い揺れが来る事を可能な限り素早くおしらせする情報ですが、速報が発表されてから対象となる地域が強く揺れるまではわずかな時間（数秒～数十秒）しかありません。地震の揺れから身を守るには、その場所や状況に合わせてあわてずに行動する必要があります。あわてずに身を守る行動を起こすためには、その場その時に合わせてどのような行動を取るべきかをあらかじめ考え、行動している自分を想像しておくことが大切です。また、その想像をもとに実際に体を動かして、行動を経験してみましょう。



### 【訓練の方法】

緊急地震速報を活用した訓練は大きく 2 つのやり方があります。ひとつは、防災に積極的な自治体や行政機関などが気象庁から送られた訓練用の緊急地震速報等を活用して行う訓練に参加することです。もうひとつは、右に挙げるような方法を使って、独自の訓練を試みることです。準備はご自分で行う必要がありますが、いつでも好きな時に訓練することが出来ます。

#### < 独自で行う訓練の例 >

- ・緊急地震速報を見聞きしたら、「地震だ！地震だ！」と大声で家族全員に知らせる。
- ・事前に決めてあった安全な場所に各自が避難する。
- ・すぐに強い揺れが来るが、むやみに動かないで様子を見る。
- ・揺れが収まるのを待って避難場所に移動する。
- ・避難する場所を事前に家族会議等で決めておく。
- ・一緒にいる家族の安全を確認し、災害用伝言ダイヤルに登録する。
- ・テレビ・ラジオで確かな情報を入手する。
- ・一緒でない家族の安否確認を行う。

### 【緊急地震速報を見聞きした場合の対応】

見聞きしてから強い揺れが到達するまでの、短い間に身を守るための行動を取ります。緊急地震速報を見聞きしたときの行動は「まわりの人に声をかけながら、周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」ことが基本です。訓練の実施にあたって、あらかじめ様々な状況に応じてどのような行動を取るのかを考えておく事が大切です。例えば、家庭や職場で地震が発生したときどうするのかを考えておきましょう。

### 【訓練の後に】

訓練終了後に、実際に行動することができたか？できなかった場合にはどこが問題だったのか、右の例のような“ふりかえり”を行い、家族や職場のみんなと考えてみましょう。地震はいつ、どこで発生するのか分かりません。今回と違った状況ではどうするのかもイメージしてみましょう。

#### < 訓練終了後の“ふりかえり”の例 >

- ・緊急地震速報受信端末の音量は適切でしたか？  
→「適切な音量であった。」  
「あまり大きすぎてビックリした。」など
- ・事前に計画しておいた行動がとれましたか？
- ・周りの人の行動に問題はありませんでしたか？